

広島大学  
教育学部

# 後援会報

第 22 号  
2022 年



# 令和三年度の教育学部

教育学部長 松見 法男



教育学部後援会会員の皆様には、お元氣にてお過ごしのことと拝察いたします。平素より教育学部の取り組みについて多大なるご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この頃「昨年引き続き・・・」や「昨年と同様に・・・」といった言葉を耳にするが多くなりました。言葉の終わりは、「中止となりました」や「開催いたしません」で括られています。言わずもがな、新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会の一般的な動きです。

そのような中で、幸いにも、令和三年度の教育学部では、「昨年に引き続き」、教育実習を無事に実施することができました。附属学校の先生方や後援会の皆様、宿泊施設としてのホテル代等をご支援くださいましたグリーンウイング教育奨学金（一般社団法人グリーン・ファミリー）の皆様には、心より感謝申し上げます。

他方において、「昨年と同様に」、授業の一部をオンライン形式で実施せざるを得ない時期がありました。主に教育学部生が活躍する学内のイベントも中止または延期せざるを得ない状況が生じました。しかし、教育や研究の活動において、種々の制約を受けながらも、教育学部の先生方や学生諸子は、日々様々な場面で頑張っている。

います。ここでは、その一部を紹介いたします。

一つ目は、世界の大学との繋がりで、教育学部は、二〇一八年にIN E I (International Network of Educational Institutes) に加盟しました。IN E I とは、教育学に関する実践と成果を集約して教育の発展を目指す国際的なネットワークです。オーストラリアのメルボルン大学、イギリスのロンドン大学、アメリカのウイスコンシン大学など、各国トップクラスの一大学しか加盟が認められていません。IN E I は現在、十一か国十一の大学から構成されています。

今年も複数の大学からオンライン形式による国際シンポジウムや国際セミナーへの参加依頼が来しました。直近では、昨年の十二月にブラジルのサンパウロ大学が主催した国際大会で、教育学部の先生と教育学研究科の大学院生が英語で発表を行いました。現地とは十二時間の時差があり、東広島では夜九時以降の出席となりましたが、発表内容については高い評価を受けております。今後も、加盟大学と連携して教員・学生の交流を促し、共同研究や共同事業の策定を行ってまいります。来る二月には、教育学部が主催する国際共同シンポジウムを、オンライン形式で開催する計画です。

二つ目は、地元の東広島市教育委員会との連携事業です。その一つとして取り組んでいる外国籍の児童を対象とした日本語学習支援では、教育学部や教育学研究科・人間社会科学研究科の学生諸子が、ボランティアとして活躍しています。日本語クラスの先生が対面式授業をされている教室の一角で、児童は一人ずつ、大学生のお姉さんお兄さんと一緒に、パソコン画面を通して、日本語の対話練習を行ったり、教科書に登場する日本語の理解を深めたりします。

教育学部の教員は、教育委員会や小学校の先生方と定期的に会議を持ち、担当者への指導も併せて行っています。学生諸子は、ICT活用による教育の現場を実体験することになり、近い将来、GIGAスクール構想を担う教師として活躍してくれることでしょう。

現在、この支援は市内の三つの小学校で行っていますが、実践的な成果を踏まえて、日本の学校教育におけるCLD児 (Culturally and Linguistically Diverse Children: 文化的・言語的に多様な背景をもつ子ども) の支援に関する「東広島モデル」を提唱したいと考えています。

今、大学は後期の第四タームに入り、対面授業を基本として学びの時間と空間を提供しております。再び新型コロナウイルス感染拡大の波がやって来そうですが、教職員は一丸となってコロナ禍を乗り越えるため、さらに精進いたします。後援会会員の皆様には今後とも、ご指導を賜りますよう、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈りしております。



成績優秀学生奨学金制度の表彰式

# ウィズ・コロナの

## 学生生活の支援

学務委員会学生生活  
指導専門部長

渡部 倫子



後援会の皆さまにおかれましては、日頃より多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

教育学部では、授業やサークル活動に加え、新入生対象のオリエンテーション行事、教育学部祭(E-Storm)、部活動やサークル活動など、より充実した学生生活を送るため学生主体の行事が行われています。しかし残念ながら、昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため

め、すべての行事を中止せざるを得ませんでした。

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のレベルに応じて、制限のなかでの学生生活を強いられることになりました。本学では授業や課外活動における活動指針レベルが具体的に定められており、学生のみなさんの健康と安全を最優先にしたいうえで、可能な限り豊かな学生生活が送れるよう教職員一同、最大

限の努力を続けています。幸い、対策レベルが下がるにつれ、原則として対面授業が再開されることとなりましたが、様々な事情により対面で参加できない学生や留学生のために、オンライン授業と対面授業を同時に行うハイブリッド授業も行われています。

学生の皆さんも昨年度の状況を踏まえ、徹底した新型コロナウイルス感染症対策のもと、少しずつ課外活動を行えるようになってきました。本年度の教育学部祭は対面での開催ではなく、より多く子どもたちに届くよう、動画配信コンテンツの制作に取り組むことになりました。厳しい状況の中、めげることなく意

# 新型コロナウイルス感染症流行下における

## キャリア形成

学務委員会  
就職支援専門部長

池田 良



後援会の皆様には置かれましては、教育学部及び人間社会科学部研究科の就職支援事業に対しまして、日頃より多大なるご支援・ご鞭撻をいただき、心よりお礼を申し上げます。

「就職支援専門部長」なる学生・院生の出口戦略上極めて重要なお役を申し付けられ、大変身の引き締まる思いでこの二年間務めさせていただいております。就任当初は就職情報資料室及び後援

会・同窓会の皆さまのご支援により継続させていたいただきました就職に関する諸々の講座・行事を滞りなく粛々と進めることを使命として励んでまいりました。

しかし、周知のように世界的な新型コロナウイルス感染症の大流行により、日本国内でも令和二年二月頃から諸々の行事の自粛の風が巻き起こり、同年四月に専門部長に就任した頃にはついに広島大学でも入構制限が行われ、学生の姿が

キャンパスから消え、人生の不条理を嘆く日々となりました。講義や会議・研究会等を行うにも、また、例年開催されてきた就職支援事業を行うにも、新しいメディア機器に全く不慣れな私は不安を抱えながらの二年弱となりました。昨年に続き今年も例年九月に開催される「後援会総会」が中止となり、保護者・後援会の皆様には大変なご不便をお掛けしました。

このような緊迫した状況にありながらも令和三年度五月にオンラインで開催した「都府県別就職説明会」は、同窓会のご協力のもと多くの就職志望の学生・院生の就職支援事業として貴重な情報提供

欲的に、行事の企画・運営や課外活動に取り組んだ経験は、来年度以降の行事や活動にかかれていくことと思います。

引き続き困難な状況が続くかもしれませんが、「ウィズ・コロナの時代だからこそできること」を学生の皆さん、保護者の皆さま、後援会の皆さまと模索し、前向きな気持ちで共に乗り切っていきたいと考えております。学生の生活支援についてご意見、ご質問などございましたら、ご遠慮なくご一報いただければ幸いです。引き続き、ご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

をすることができました。また、新たに企画(対面・オンライン開催)した就職に関心のある学生(特に二年生)向けの就職ガイダンス「教師の魅力と仕事のリアル」は多くの就職志望者のキャリア形成のヒントになったことと思います。

コロナ禍でこれまでの産業構造や国の教育行政そのものが確実に大きく変わりました。これから就職する学生・院生にはどんな突発的な変化にも対応できる思考と態度の柔軟さが求められることになるでしょう。後援会の皆様には引き続き学生へのご支援を何卒よろしくお願ひいたします。

# 教育実習

## ●教育実習（小学校）

教育学部 第二類  
初等教育教員養成コース 三年

出村 伊知郎



私は、二〇二一年八月三十一日から九月二十九日までの一か月間、広島大学附属小学校で教育実習をさせていただきました。この教育実習を通して学んだことから、自分にとって特に印象に残っていることを一つ紹介させていただきます。

それは、教師として「待つ姿勢」の大切さです。私は、教壇に立つと、児童たちの声が飛び交う明るい授業の雰囲気求めてしまいがちでした。そして「児童の理解を助けよう」「児童の意欲を駆り立てよう」と、つい自身の言葉数が多くなったり、周りが見えていないまま話し続けたりする状態に陥ったりしました。

しかし、子どもたちが、発言しないことや、教室がシーンとしていること

は、必ずしも悪いことではありませんでした。むしろ、「なんでもかんでも、子どもたちのためを思って指示や助言を飛ばすのではなく、自分たちで考え、気づくことができるように、教師が『待つ』姿勢が重要である」と実習先の先生に教わりました。

また、指導案のもつ意味や、子どもたちを導く指導言など、授業を作る・行う・振り返る上で、私たちが大切にすべきことを、教壇実習や授業見学の途中で学ぶことができました。

私は、「教師」という職業に憧れて、教育学部に入学しました。そして、教育実習で初めて、実際の児童を相手に授業をするという経験をしましたが、授業をするものの難しさ、そしておもしろさを味わうことができ、改めて「教師」という職業に憧れ直すことができました。緊急事態宣言下の中、私たちが引き受けてくださった、教職の意義や醍醐味を教えてくださいました。皆様、本当にありがとうございます。



授業風景

## ●教育実習（中・高等学校）

教育学部 第四類  
人間生活系コース 三年

川添 彩楓



私は、二〇二一年八月三十日から三週間、広島大学附属三原中学校で家庭科の教育実習をさせていただきました。この教育実習を通して学んだことから、特に印象深かったことを二つ紹介させていただきます。

一つ目は、生徒は多様な考えや疑問を持っているということです。最初は、生徒に正確な理解を深めて欲しいという思いが強く、一方向に授業を進めてしまいました。しかし、生徒の発言や行動を観察すると、大学生にはない視点から物事を分析していたり、社会変化の激しい時代において教科書以上の事柄を知っていたりすることに気づきました。そこで、多様な考えを生む導入を取り入れたり、生徒の言動を基に授業を展開したり、家庭や地域と連携を図った授業づくりを行ったりして、生徒の多様な考えや疑問を引き出す授業づくりができるようになりました。

二つ目は、生徒が一人残らず主体的に考え動くことができる工夫です。生徒の実態に合わせて、生徒自身が主体的に考えられるような指示の出し方を行ったり、物事の全体を把握して見通しを持つよう助言したり、一人一人の頑張りを全体で共有することで、生徒全員が積極的に取り組む環境づくりが行われていました。このような環境が、生徒指導や学級経営の面でも効果的に表れることを体感することができました。

私はこの教育実習を経て、生徒の前に立つ教師として、様々な経験をさせていただきました。ご多忙の中、丁寧な指導してくださった先生方、共に過ごした生徒の皆さん、本当にありがとうございます。また、教育実習担当の皆様、教育実習を行うにあたりご尽力いただきました。心より感謝申し上げます。



授業風景

# 第二十二回後援会総会

第二十二回後援会総会は、新型コロナウイルス感染症の全国的流行の状況を鑑み、昨年に続き対面での開催を中止し、九月末書面審議とさせていただきますました。

十月末まで議事に対するご意見をお待ちしましたが、不承認のご意見はありませんでした。承認いただいた議事は、次の通りです。

## 議事

- 一、令和二年度決算について
- 二、令和三年度予算について

(詳細は省略)

令和三年度の役員をご紹介させていただきます。(敬称略)

## 役員の紹介

- 会長 瓜生八百実
- 副会長 竹田 史朗
- 安東 善博
- 監事 大塩 俊
- 岡本 秀隆
- 理事 満田 修一
- 岡井妃路美
- 渡邊 俊成
- 内山 淳

- 岡田美由紀
- 渡邊 賢祐
- 西村 究
- 山下 敏彦
- 城戸 宏江
- 寺田 裕幸
- 田尾 雄一(新任)
- 西川 芳幸(新任)
- 高次 薫(新任)
- 住川 誠(新任)

今後も経費節約に努めながら必要とされる支援は積極的に行い、学生の皆さんの夢が叶うよう応援していきたいと考えております。

コロナ禍で不自由なことは増えていますが、ソーシャルディスタンスを保ちながらオンラインのツールを駆使し、就職担当の先生方の指導を受けながら多くの学生の皆さんは、充実した就職活動を行っています。この会報の中でそんな就職活動の体験記をたくさん掲載しましたので、ご一読いただけますと幸いです。

# 就職支援

## 採用試験のための 実技補習(音楽)

教育学部 第一類  
初等教育教員養成コース 四年

山口 夏穂



私は昨年、三重県の小学校教員採用試験を受験しました。三重県の小学校教員採用試験では、二次試験で実技試験があり、電子ピアノの弾き歌いとマット運動が設定されています。私は小学生から高校生までの間ピアノを習っていたので、ピアノを弾くことに対しては抵抗がなかったのですが、試験官の前で歌うことに対して不安がありました。そのため、音楽の実技補習に参加して対策を行うことができました。

補習では、課題曲である「はるがきた」のピアノと歌唱をマンツーマンで指導していただきました。一回あたり三十分〜一時間程度のレッスンで、音楽文化系コースの大学院生のTAの先生が指導してくださいました。

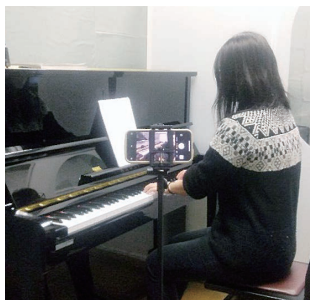
初回は新型コロナウイルスの感染が拡大している時期で対面でのレッスンを行うことができなかったため、オンラインで弾き歌いの

動画を送りそれに対するアドバイスをメールでいただくという形で実施されました。二回目以降は対面でレッスンを受けることができ、先生は発声の準備の方法や息継ぎの仕方、試験に向けての心構えなどたくさんのご意見を教えてくださいました。私は特に高い音の音が細くなってしまう、苦戦していたのですが、レッスンを重ねるうちにアドバイスを受けて上達していききました。

補習中には先生が教員採用試験を受けた時の体験談や、緊張をほぐすようなお話をしていただいたおかげで、試験に向けてリラックスしながら練習を積むことができたと思います。また試験直前の八月には試験本番を想定した四人でのレッスンが行われ、人前で弾き歌いをするとても良い練習ができました。教採当日の試験ではとても緊張しましたが、先生の励ましの言葉を思い返しながら、自信をもって臨むことができました。

最後になりましたが、試験に向けて支援をしてくださった後援会、ご指導いただいた先生、切磋琢磨し励まし合った友達に心から感謝しています。

どうもありがとうございました。



動画を撮影している  
自主練習の様子

## ●就職指導講話

教育学部 第四類  
人間生活系コース 三年

小松 宗平



令和三年七月十日に人間生活系コースの学生を対象に将来の職業を含め、ありたい自分を考えることを目的とするキャリアデザインフォーラムが開催されました。今回のキャリアデザインフォーラムはコロナ禍のためオンラインでの開催となりましたが、三名の講師の方から自分の進路を決めていく上でとてもためになる貴重なお話を聞くことができました。

教員、公務員、一般企業の三種の職業において活躍されている卒業生の方々から具体的な仕事内容、その職業に就いた理由、それぞれの仕事のやりがいや大変なことなど、様々なお話をさせていただきました。就職活動を控え、自分自身の進路を決定し、キャリアを形作っていく三年生だけではなく、二年生にとっても卒業後の自分を考えてみるきっかけとなるフォーラムでした。

就職活動を控えた自分にとって自分が志望している一般企業だけではなく、様々

な職種のお話を聞かせていただいたり、質問をさせていただいたりする中でどんな職種においても人間生活系コースで学んだことは存分に活かされていると感じました。また、講師の方々の「やらない後悔よりもやる後悔」「目標を見える化する」「自分の軸」となるものを見つけてそれを基に進路決定をする」といった考え方にとっても感銘を受け、自分自身の今後の就職活動から社会人人生を歩む上で大切にしていきたいと思いました。

今回のキャリアデザインフォーラムを通して、漠然と感じていた就職活動、試験への不安感や迷いが解消され、将来を本気で考える良いきっかけとなりました。講師の先生方の講話で学んだことを存分に活かして自分の「軸」に合う企業に勤められるようにしっかりと取り組んでまいります。



キャリアデザインフォーラムの風景

## 就職活動体験記

### ●就職情報資料室を活用して (小学校教員)

教育学部 第一類  
初等教育教員養成コース 四年

西臺 真実



「人、もの、場所：。活用できるものは全て活用しましょう。」去年、教員採用試験合格者体験発表会で、先輩がお話されていた言葉です。就職情報資料室には、教員採用試験に精通した先生が在室され、豊富な教材と資料が置いてあります。まさに、教員採用試験の対策にぴったりの場所ではないでしょうか。

三年生の後期、杉原先生が教採対策ガイダンスを主催して下さったことをきっかけに、就職情報資料室に足を運ぶようになりました。どのように対策を進めていくのか漠然とした不安を抱えていた私に対して、先輩方の教採体験談をはじめ、私の志望自治体と志望職種に合わせて様々な資料を提示して下さいました。何かあればいつでも来なさい、と言っていたときは、非常に心強かったです。

以降、進路指導室では、二次試験直前ま

で何度も指導をしていただきました。友達と集団討論の練習を行った際には、試験官役として討論を見ていただきました。自分では気付くことができなかった話し方の癖を指導していただき、非常に参考になりました。個人面接の練習では、一つの質問に対して様々な切り口から深掘り質問をしていただきました。「当日聞かれるかもしれない」と心の準備ができたうえに、何よりも自己分析を進めることで自分の軸を明確にすることができたと思います。発言の最中に現れた拙い日本語に関する確に指導していただき、より相手に伝わりやすい丁寧な言葉遣いを意識して、練習を進めることができました。試験当日は、練習の成果を存分に発揮し自信を持って堂々と受け答えることができました。

四月からは、長年夢見た小学校教員として働きます。合格を報告した際には一緒に喜んで下さり、私もとても嬉しかったです。進路の実現に向けて背中を押してください。本当にありがとうございます。



就職情報資料室で杉原先生と

## ● 教員採用試験と県人会 (小学校教員)

教育学部 第一類  
初等教育教員養成コース 四年

大原 美優



「自分で教採の勉強をしないとイケないんだー大丈夫かな？」大学三年の秋、私はとても不安でした。広島大学では、大学の授業の中で教員採用試験の対策を行うことは少なく、学生主体で対策を進めていくのです。しかし、一人で孤独に対策するのでありません。多くの学生が、県人会というグループに入り、そこで仲間とともに対策を進めます。

県人会とは、教員採用試験の対策を行うために広島大学の学生によってつくられる、都道府県ごとの集まりです。活動内容や活動頻度は学生同士で話し合いながら決めていくので、県人会によっていろいろです。私が所属していた県人会では、自己PRの添削や、面接、模擬授業面接の練習をしました。教員採用試験までの道のりは長く、心が折れそうになることもあります。しかし、「教員になりたい」という同じ目標に向かう仲間がそばにいたことで、何度も助け

られました。

県人会で教採対策を進めるうえで、就職情報資料室の先生方に助けていただいたこともたくさんあります。「面接対策にいいDVDがあるよ」とおすすめのものを教えていただいたこともあれば、「県人会のみんなでおいで。どんな感じか指導してあげよう」と県人会のメンバーみんなで模擬授業面接の指導をしていたこともあります。学生だけでは気づけなかったことを、たくさん教えていただきました。教員担当の先生と公務員・民間企業担当の先生がいらっしやるのですが、進路に関係なく手を差し伸べてくださいました。

県人会のメンバーや資料室の先生方、いろんな人とのつながりのおかげで、私は教員採用試験を乗り切ることができました。本当にありがとうございました。



面接対策用DVD

## ● 就職活動体験記 (高等学校教員)

教育学部 第三類  
英語文化系コース 四年

玉井 日向子



高等学校の教員採用試験を受験しました。小学校、中学校と比較して、高校では教師の各教科の専門性が重視されています。また、自治体によっては、資格等による加点制度や特別選考があります。私の受験した自治体では加点制度があるため、教員採用試験を見据えて計画的に英検一級等の資格を取得するために日々勉強しました。高校は競争率が高い傾向があるため、長期的な準備をおすすめします。加えて、面接や自己PR書では人間性も見られるため、受験者自身の経験についても問われます。私は大学生活で、留学やボランティア活動など様々な経験をしました。そのため、実際の試験では自身の経験を活かして、自分の良さを最大限伝えることができました。大学生活ではぜひ、いろいろなことに挑戦してください。

さて、専門教科や資格、経験についてお伝えしましたが、もちろん教師としての在り方や教育に関する知識も必要です。それ

らに関する学習で非常にお世話になったのが、就職情報資料室です。ここでは、教採に関する参考書、教育に関する本、自己啓発本、先輩からのメッセージ、お役立ち情報などたくさん資料が集まっています。

資料は貸出可能で、私はこれらを活用して教員採用試験の動向を探り、必要な知識を身に付けました。また、なんといってもお世話になったのが、杉原敏彦先生です。先生は親しみやすい方で、大変熱心に面接練習や小論文指導をしてくださりました。特に面接指導では、動作や表情に加え、細かい発言内容もしっかりと見て、校種や自治体の特色に応じて丁寧に指導してくださいます。おかげさまで無事合格し、小論文と面接の成績は特に高得点でした。杉原先生はじめ、素敵な就職情報資料室を提供してくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

就職情報資料室の図書



先輩からのメッセージ

## ●就職活動体験記(教職大学院)

人間社会科学研究所 教職開発専攻  
教育実践開発コース

井上 和紀



今年度、私は教職大学院に進学しました。学部の実習後、教員としてのこれからのキャリアを考えたとき、学校現場に出る前に自身の強みをもって教壇に立ちたい、子ども理解の専門性をさらに高め、一人一人の心に寄り添える教員になりたいという思いをもつようになりました。そして、理論と実践を往還する学びの機会や、現職教員学生と学部卒院生が協働的に関わり合う機会が充実している教職大学院に魅力を感じ、進学を志しました。大学院進学後の現在、この道に進んでよかったと心から思っています。

その一方で、私の地元は広島から遠く離れていることもあり、コロナ禍での教員採用試験の情報収集が非常に難しい状況でした。そこで、学部時代にもお世話になった就職情報資料室の先生に相談することにしました。不安でいっぱいだった私に先生は温かく声を

掛けてくださり、週に一回のペースでご指導をいただくことになりました。

特に面接指導では、自分の考えが相手に伝わりやすい言葉遣いや話し方について丁寧に指導いただき、就職情報資料室に赴く度に、自分の受け答え方がブラッシュアップされていくのを実感しました。その結果、試験当日は自信をもって自分の思いを伝えることができました。

これからの教職人生に向けて、自分を見つめ直し、教員になる上での軸を形成することができたのは、真摯に向き合ってくれた先生の存在があったからだと思っています。合格の報告に伺った際に、一緒に喜んでくださったときの感動は忘れません。ほんとうにありがとうございました。



杉原先生と面談中

## ●就職活動体験記(公務員)

人間社会科学研究所 人文社会科学専攻  
心理学プログラム

小寺 真由美



児童虐待件数は年々増加傾向にある。虐待が子供に与える影響は非常に大きく、その後の子供の人生を大きく揺るがすことになる。

私が児童虐待の問題に興味を持ったのは、心理学を学び始めた学部生の頃でした。そこから実際に児童相談所の指導員としてアルバイトをする中で、児童虐待防止やその支援に携わる仕事がしたいと考えようになり、県の心理職として働くことを決意しました。

広島県の職員採用試験は毎年六月に実施されます。私は一次試験に向けて大学院進学後、少しずつ勉強を始めました。就職情報資料室は、一次試験の合格後、二次試験の面接対策のため利用しました。そこでは、面接カードの添削や面接練習をたくさんして頂きました。練習では「この領域に興味を持った理由は？」などの質問があり、考えさせられる場面が沢山あり

ましたが、改めて自分自身を振り返る貴重な時間になりました。このような体験は、試験の合格に繋がっただけでなく、自分を振り返るきっかけにもなり、児童相談所という過酷な現場に足を踏み入れる決心や覚悟にも繋がったと感じています。

私は一次試験が終わってから就職情報資料室の存在を知ったのですが、資料室には過去問や先輩の体験談などが沢山あり、一次試験前から利用できていたらもっと心強かっただろうなと心残りがありました。そのため、これから公務員を目指すそうと考えている方は、早めに就職情報資料室を利用するのいいと思います。特に、一次試験が終わってから二次試験の準備をするとなると、時間的に厳しく焦りも感じていたので、早めに利用できる心強いと思います。最後に、試験ギリギリに駆け込んだにもかかわらず熱心に指導してくださった重政先生、そして資料室の皆様、本当にありがとうございました。これから公務員を目指す皆さん、頑張ってください、応援しています。



就職情報資料室入口



## ●就職活動体験記 (一般企業)

人間社会科学研究所 教育学専攻  
教師教育デザイン学プログラム

今井 祐介



私が初めて就職情報資料室を利用したのは、大学院への進学を控えた四年生の三月でした。この時期、ふと「このまま教師の道に進んでいいのか」という疑問を持ち、民間への就職を考えはじめました。一方で、周りに相談できる人がおらず、資料室に聞きに行こうと考えました。資料室に行く前は正直緊張しました。右も左もわからない中行っても変な質問ばかりしてしまいそうで、失礼にならないかと。しかし実際訪ねてみると、支援室の重政先生は私の漠然とした質問にも丁寧に答えていただきました。

それから月二・三回ほど重政先生に相談に行きました。私の相談内容は主に二つでした。一つ目はESの添削です。ESは事前に送ると、びっしりコメントをくれます。特に私は抽象的で難しい言葉を使いがちだったので、誰

が読んでも伝わる内容になっているかどうか助言をもらいました。二つ目は模擬面接です。フィードバックを通して面接官がどういう視点で学生を見ているのかが理解できました。そのほか、選考対策だけでなく、就職活動のスケジュール、内定の承諾先についても相談ののつてもらいました。

教育学部で民間・公務員を考えることは勇気のいる選択だと思います。しかし、勇気を出して一歩前に進んでみると「案外こちらが正解かもしれない」と気づくこともあります。自分一人を抱え込まず色々な人を捕まえて頼ってみることをお勧めします。



就職情報資料室で重政先生と

## 就職情報資料室より

### コロナとガクチカ

重政 晃



「ガクチカ」という言葉をご存知でしょうか? 「学生時代に力を入れたこと」の短縮形で、就職活動期によく使われる学生言葉です。教員・公務員・企業のどのコースでも、選考試験のなかで「志望動機」「自己PR」とともに必ず聞かれる定番質問のひとつです。

なぜガクチカを聞かれるのか? 企業や自治体の中途採用では、一般に応募者の「キャリアと実績」が重視されます。でも実務経験のない新卒の学生に同じことは聞けません。代わりに聞かれるのがガクチカ、そしてそれを通じてどんな学びや成長があったのかです。そこから、学生の「社会人基礎力」(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)などを中心に様々な情報を得ようとしています。

そのガクチカ環境がコロナ禍の二年間で大きく変わりました。コロナ禍で社会的に大きな影響を受けました。学業・部活サークル・ボランティア・留学・アル

バイト等々、これまで普通にやってきたことが儘ならなくなりました。就職活動の中で自信を持って語れる経験に乏しく、不安に思う学生が増えており、「ガクチカ難民」というおぞましい言葉さえ生まれています。

採用する側はこうした環境変化に配慮してくれるのでしょうか? 答えは「No」です。コロナ禍の影響は同世代の学生が一様に受けており、その中で生じる学生の対応能力や個性の差が採用する側にとっては逆に格好の判断材料になってきます。不自由な環境をどう受け止めどう対処するか、それを自分で考え実行してきた学生も多くいます。社会はそのような学生を求めているとも言えます。

では、このような環境変化に学生はどう対応すればよいのでしょうか?

まずは、自らコントロールできない外部環境の変化などに一喜一憂しても仕方がないと認識すること。その上で、いま自分でできること、すべきことを着実に実行することが大切です。学生時代にできる様々なことに挑戦し、それを通じて「社会人基礎力」を養っていただきたい。コロナ環境下でもできることはたくさんあるはず。一つのヒントはやはり、できるだけ「人」と「社会」に交わることではないでしょうか。そして、就職活動期が近づけば早めの「進路決定」と早めの「準備着手」が大切なことは言うまでもありません。くれぐれも「ガクチカ難民」などになりませんように。

## コース等紹介

## 心理学系コース

心理学と聞いて、真っ先に何を思い浮かべるでしょうか。『人の心を読む』心理テストや某メンタリストのイメージが先行して、少し胡散臭いものと捉えておられるかもしれません。実をいうと私も入学時、心理学を学べば人の心を読む特殊能力が得られるのかな、などとその胡散臭さの部分に淡い期待を抱いていました。しかし、その期待は最初の授業で打ち砕かれます。心理学は『心』の『理学』、その研究はデータや統計に基づいて行われており、特殊能力の入り込む隙はありませんでした。心理学は目に見えない曖昧な『心』を対象とするからこそ、目に見える数値に厳しく向き合い続ける必要があるのだと知りました。

そんな心理学を学ぶ当コースの内容を座学と実習・演習に分けてご紹介します。まず座学では、認知、学習、社会、教育、発達、臨床など心理学の主要領域の講義に加え、研究で用いる統計や分析方法についても学びます。一方、実習・演習では、実験や論文執筆の方法を学ぶ基礎実習、外国語論文の読解、さらに心理職が働く現場に赴く心理実習などを

行います。これらの学習を通じて得られるのは、人の心を様々な側面から捉え、その問題解決を図るスキルです。このスキルは、生きていく限り切り離せない心や社会、人間関係の諸問題に向き合う上で重要なスキルであると考えます。心理学を学んでも、人の心は読めない上に『人の心は分からない』ことを思い知らされるばかりですが、だからこそ面白く、探求しがたいのある学問だと思います。



宮島での新入生歓迎会の様子(2019年)

教育学部 第五類  
心理学系コース 三年 一瀬優梨香

C棟四階のエレベーター前に佇むひと際大きな教室。私が所属している教職開発専攻(教職大学院)の「教育実践開発コース」の院生室では、熱い教育の話はもちろん、たわいも無い話や深い人生相談などが、日々の教室のどこから聞こえてきます。

本専攻は、「教育実践開発コース」と「学校マネジメントコース」に分かれており、教員志望のストレートマスターに加えて、すでに現場で活躍されている現職教員の院生が在籍しています。これからの学校づくりの先頭に立つ、新人教員・ミドルリーダー・スクールリーダーを目指し、これまで多くの学生が学びを深めてきました。

本専攻の魅力は大きく分けて二点あると思います。

一点目は、多様な視点から教育について語り合える点です。私自身、学部生の頃には考えることが難しかった、多校種の視点や実際の現場の視点からも教育についての話し合いができ、教育について考える視野が広がったと感じています。

二点目は、本専攻の最大の特徴であるアクションリサーチによる学びです。自身の研究テーマに基づいた先行研究をもとに理論を構築し、それらを実地研究校で実践し、その実践を大学の指導教員・実地研究校のメンター教諭と共に振り返りながら自己省察を深めていくというサイクルが二年間の中で四回繰り返されます。理論を深めながら授業実践力も高めていくという「理論と実践の往還」を果たすためのカリキュラムが整っています。

これからの学校を引っ張る「学び続ける教員」であり続けるために、本専攻の学生は皆熱く、そして謙虚に教育について日々学びを深めています。



アクションリサーチ発表会の様子

## コース等紹介

## 教職開発専攻

人間社会科学研究所 教職開発専攻  
教育実践開発コース 鈴木颯太

## コース等紹介

# 初等教育教員養成コース (学習開発実践専修)

主に小学校教員になることを目指す私たちのコースでは、周りの仲間と共に授業や様々な経験を通して多くの力をつけていきます。一年生では教養教育系の授業で、自分の興味のある分野を幅広く学びます。二年生では専門科目を中心に、小学校教員としての実践的な知識や技能を学びます。そして、三年生になると学生がより興味のある分野を深く研究して卒業論文を執筆していくために、様々な分野に分かれます。

その中でも私は、学習開発実践専修でいじめ問題を解消するための道徳教育について研究しています。現在は卒業論文執筆の参考にするために先行研究や関連書籍を読み、知見を深めています。教員一人、学生三人というゼミの環境ですが、各自の卒業論文に向けて日々の研究成果や調べてきたことを発表したり議論したりして、お互いを高めあっています。

また、三年生の秋に受講した小学校教育実習では約一か月間にわたり、実習先の先生方や子どもたち、実習班の仲間たちのおかげで多くの学びを得ることができました。

た。この貴重な経験をさせていだいたことで、その後の大学での授業や卒業研究においても小学校教員になるために大切なことをさらに深く理解することができるようになったと感じています。

このように、私たちのコースでは仲間と共に授業や多くの経験から小学校教員としての学びを多く得ることができている環境にあります。これからも立派な小学校教員になるために日々精進していきます。



ゼミの様子

教育学部 第一類  
初等教育教員養成コース 三年 向井 颯馬

初等教育教員養成コースには、学習開発実践専修と初等カリキュラム開発専修があります。三年次に各専修に配属されます。初等カリキュラム開発専修では、小学校で学ぶ、国語・社会・算数・理科・生活・音楽・図画工作・家庭・体育・外国語の中から一教科のゼミを選択し、卒業論文を書くこととなります。

本専修の特徴は、一つの専修の中で様々な教科について研究をすることです。本専修には、各教科一〜二名ずつ、それぞれの科目を専門とする先生方がおられます。全員が実践に詳しいため、あらゆる視点から、小学校における各教科のあり方について考えることができます。

また、学部四年間の中では、多くの行事が計画されています。一・二年度には学部全体で行うオリエンテーションキャンプや、第一類の学生で行うI-moveという新入生歓迎行事などがあります。さらに、近くの小学校や附属小学校に一日授業観察に行きます。三年次には、五週間の小学校教育実習(コロナウイルスの影響で四週間に短縮)、四年次には、幼稚園、中・高等学校教育実習、卒業論文発表会などがあります。四

年間を通して、一学年一〇〇名以上いる同級生や大学の先生方、附属学校の先生方など、あらゆる方々との出会いの中で、協力することや、人との繋がりの大切さ、子どもたちとの接し方を学んでいます。

昨年、新型コロナウイルス感染症の影響により、教育界でも様々なことが大きく変化しました。休校になった期間が長かった影響で、不登校児童が増え、オンラインなどのICTを用いた授業が実施され、今後これらの課題への対処が求められます。学校現場で起こる問題や変化に対して、柔軟に対応するための専門性や人間性、教師としての自覚などを身につけることができます。



2019年のI-move (新型コロナウイルス感染症の影響により2020、2021年度は中止)

教育学部 第一類  
初等教育教員養成コース 四年 新野 悠太

## コース等紹介

# 初等教育教員養成コース (初等カリキュラム専修)

## 就職情報資料室より



# 22世紀を生きる子どもたち — 教職を目指す人を応援する —

教育学部就職情報資料室 就職担当客員教授 杉原 敏彦

表題は「21世紀」の誤植ではない。

私事で恐縮だが、昨年（2021年）孫が誕生した。ふと考えてみると、2101年——22世紀の始まりの年にこの孫娘は80歳となる。現在の平均余命を考えると、この子が22世紀を生きる人であることに何の不思議もない（私たちシニアにとっては遠い、遠い未来であるが）。教職を目指す現在の学生たちやこれから広島大学教育学部に入学してくる学生たちは、間違いなく22世紀を生きる人たちを育てることになるのだ。そう考えると、自然壮大な気分になる。昨日、今日の一度や二度の失敗はささやかな出来事に思えて来やしないか。

そうすると、学校教育の段階で身に付けた知識の多寡や技能の良し悪しは、子どもたちのその後の大きな人生から見ると、そのことのみで価値が測られるものではないだろう（もちろん基礎基本の修得はとても大切なことであるが）。そして、子どもたちを育てる教師の力量についても、現在保持している力よりも今後長く教職にあるはずの人たちが、22世紀を生きる人たちにどのようなまなざしを注ぎ、どのように育ててくれるのか見定めることが重要である。また、教師は自身の力を絶えず見直し、力量を育てていく人であってほしいと願う。それは教員採用試験にも直結していて、昨今各教育委員会の策定する「求める教員像」は、豊かな人間性を備え、意欲を持って児童生徒に相対しようとする人が強調される。同時に採用試験も「人物重視」にシフトして来ており、勢い、面接の比重が増し、自分の思いやりややりたいことを直接話法で語るよう求められる。

教員採用試験のこのような変容は、広島大学生にとって追い風になると捉えている。精選され濃密な実施方針の下行われるこれからの時代の採用試験では、合格のためのスキルを中心に身に付けた人よりも、教育について深く学び、児童生徒と緊密に接する機会を重ねた人の方が求められる教員像により近いと思うからである。

さて、就職情報資料室では教員採用試験にかかわるこのような状況を踏まえ、教員採用試験を目指す人に多くの支援を行っている。特に願書・小論文の添削、ポイントを押さえた面接の指導を多くの学生に対して行って来た。2021年度には、模擬授業を新しく指導項目に加え、学生が行う授業について教員採用の観点から助言した。先述のような「人物重視」の傾向が試験に加われば、面接はもちろんのこと、「書く面接」とも言われる小論文の指導にも力を入れたいところである。今後は、今年度の教員採用試験の実施状況や新しい出題傾向等を自治体ごとに情報収集し、次の年度に繋げていきたいと思う。その一環として、各教育委員会の採用担当者を訪ね、当該自治体の教員採用試験のポイントを探っている。その際、私は面談の最後に、「御県の教員採用試験で合格する人と不合格の人とは何が違いますか。個人的な意見でもよいので。」と尋ねるようにしている。少し不意打ちのような質問であるらしく、型どおりの答えと違って思わぬヒントを貰えることが多い。先日訪ねた近畿地方の県のあるベテラン担当者の答えが印象に残っている。少し考えて「そうですね。元気な人！ でしょうか。」と言われた。「人物重視」とよく言われるが、簡単に言えばこういう人が求められているのだ、と目から鱗が落ちた思いがしたものである。

願わくは、学生の皆さんが、自分たちは22世紀を生きる子どもたちを教えるとの展望を抱き、自らの児童・生徒観、教育観、教育哲学を深めながら、教員採用試験の準備に励まれるよう念じてやまない。



就職情報資料室で学生と面談中

### ■ 編集後記

梅の花が咲いたという便りも届き、徐々に春を迎えつつあります。季節は一日一日と変わっていくのに比べ、マスクが離せない生活が続いて二年あまり、すっかり日常風景に溶け込んでしまいました。なかなか収まらない新型コロナウイルスですが、学生たちは普段から感染防止対策に心がけたうえで、勉学、教育実習、就職活動、サークルなどの大学生活を過ごしています。新型コロナウイルス感染拡大により未だに多くの活動が制限されていますが、学生たちは今できる環境のなかでさまざまなチャレンジしてくれています。今号の学生たちの寄稿から活動状況が垣間見られたのではないかと思います。寄稿いただいた皆様のこれからの活躍を期待しております。

教育学部後援会では、学生たちが夢の実現に向かって努力し、充実した学生生活が過ごせるよう「就職活動」「教員採用試験」「課外活動」や「海外留学」などの支援活動を行っており、毎年多くの学生たちがこれらの支援を受けて巣立っています。新型コロナウイルスの影響は今後も続く可能性がありますが、後援会ではこれからも学生たちが実りある学生生活を送ることができるようサポートを心掛けてまいりますので、どうか引き続き会員の皆様のご協力をお願いいたします。

### ● 発行

広島大学教育学部後援会事務局  
〒七三九一八五二四  
東広島市鏡山一丁目一番一号  
(〇八二) 四二四一四六八七